

職員からのメッセージ



C 検察事務官（出身庁：山口地検）

ひとこと

ディズニーと温泉
が大好きです



【現在の職務内容】

私は現在、公安事務課に所属しており、当課が主催する会議や説明会の準備をしたり、公安部の検察官が他官庁の会議に出席できるように調整などを行っています。

また、公安部所管の控訴事件について、検察官が円滑に訴訟手続を行うことができるように、裁判所等と調整するなどしてサポートをしています。

【人事交流に行ってきました！】

法務省内の他官庁へ人事交流できる制度がありますが、私はこの制度を利用して、2年間、広島出入国在留管理局で勤務していました。

他の官庁に勤務することで、検察庁との業務内容の違いだけでなく、組織的な雰囲気や仕事のやり方の違いを感じることができるだけだけでなく、入管庁職員の方と交流ができて、とても良い経験となりました。

【メッセージ】

「検察庁」と聞くと、堅い、厳しいというイメージが浮かぶかもしれませんが。確かに、検察庁では刑事事件を扱うため、厳しいこともたくさんあります。しかし、検察庁で働いている人は、被害者のために、社会正義を実現するために頑張りたい、という熱意と使命感を持っていると思います。

「検察庁で働く」ということが、このホームページを見てくれている方の選択肢の一つになれば、うれしいです。

職員からのメッセージ



D 検察事務官（出身庁：岡山地検）

ひとつこと

毎日、真剣勝負

たまに、他力本願



【現在の職務内容】

私は、現在、事務局部門の人事課に所属しています。

人事課は、職員の採用や人事異動、給与・手当の支給などを主な仕事としていますので、ドラマなどで表現される捜査・公判部門の仕事とは少し違います。

地味な仕事ではありますが、どの役所にも必要な仕事ですし、組織を縁の下から支える大事な仕事だと思っています。

【異動の頻度、県外への異動について】

人事異動は、概ね2年を目途に行われますが、採用間もない若手職員の場合は、早めに関係する部署を経験して仕事を覚えるため、1年ごとに異動となることが多いです。

また、基本は採用された検察庁の所在する県内での異動となりますが、勤務成績や希望によっては、東京にある法務省本省や最高検察庁へ異動することもできます。

私は、最高検察庁での勤務経験がありますが、普段、地方官署では経験できない業務を体験できたので、とても勉強になりましたし、自身のスキルアップにも繋がったと感じています。

【メッセージ】

検察庁といえば、真面目で堅いイメージを持たれていませんか？

そんなことはありません、いずれの庁の職員も、困ったときはみんなで助け合う和気あいあいとした温かいチームです。

興味があれば、是非、各庁の業務説明会に参加してみてください。

より詳しい業務内容が分かりますし、庁舎の雰囲気も直に感じてもらえるので、きっと印象が変わると思いますよ（*´艸`）